

えひめ水産イノベーション地域だより

発行：公益財団法人えひめ産業振興財団
えひめ水産イノベーション創出地域
TEL 089-960-1153 FAX 089-960-1105
E-mail : sakamoto@ehime-iinet.or.jp

第28号 平成27年4月1日発行

4月に入り、桜は満開ですが天候不順。

春の花と言えば「桜」。その桜で最もポピュラーな品種が「ソメイヨシノ」で、咲きっぷりの良さは多くの人を“花見”に誘い、満開の後の散り際の“花吹雪”には趣きがある。肌寒い風がそよ吹く花見で、ヒラヒラと舞い落ちる花びらの一片(ひとひら)が手元のコップ酒に入った時には何か良いことがありますので嬉しい気分になる。

ソメイヨシノは江戸末期に品種改良されて、明治以降に全国に広まった桜で、江戸の植木屋が多くいた染井村(現在の東京都豊島区駒込)で



作り出された。地名の「ソメイ」と古来より山桜の名所として名を馳せた「吉野山」を組合せ「ソメイヨシノ」と名付けられたそうです。

〔東京都豊島区にある染井吉野の発祥の碑〕

松山气象台によると今年の松山の桜の開花は、3月27日で、平年より3日遅く、前年より2日遅い観測となりました。今週末にかけての天候は曇りや一時雨のグズツキ模様の予報が出されており、お花見をするには気になるところ。

えひめ水産イノベーション戦略支援プログラムも事業を開始して4年目に入り、残り2ケ年となりました。今後とも、桜に習い、事業成果が花開くよう取り組む所存ですので、引き続き、ご支援・ご協力よろしく申し上げます。

推進協議会の開催

去る3月25日、松山市久米窪田町のテクノプラザ愛媛特別会議室において「平成26年度えひめ水産イノベーション創出推進協議会」(会長：山内皓平愛媛大学南予水産研究センター長)を開催しました。

協議会には、12機関から23名の出席があり、昨年12月に行われた文部科学省の中間評価の評価結果を報告するとともに、26年度の事業実績の報告と27年度の活動計画をまとめた年度計画書等について協議するなど、地域イノベ

ーション戦略の実現に向けた成果の確認や今後の取り組みの方向性が決定されました。



推進協議会の会議の様子

人材育成講座の閉講式

《水産イノベーションスキル修得講座》の第12回目の講座が3月7日・8日に宇和島市(愛媛大学宇和島エクステンション)で開催されました。

今回の講座は26年度の最後の講座で、受講生各自が1年間取り組んできたプロジェクト研究の発表会と閉講式がありました。閉講式では、一定の要件を満たした南予地域の漁業者、水産関連企業、金融機関や行政機関の職員等の20名の受講生に対して、愛媛大学から履修証明とともに「愛媛大学水産イノベーター」の称号が授与されました。

第2期の水産イノベーションスキル修得講座の終了生の皆様には、6次産業化による宇和海の水産業の活性化のため、それぞれの立場での御活躍を御期待申し上げます。



履修証明書の授与



閉講式では記念写真を撮影

《27年度人材育成講座受講者の募集》

宇和海における水産業の6次産業化を担う人材育成を目指して《水産イノベーションスキル修得講座》の第3期生を募集しています。対象者は、漁業者、漁協・水産関連企業の職員等の社会人で、講座は平成27年5月～翌年3月までの間、月1回1日(基本第2土曜日)に開催します。

募集期間は4月1日～4月10日までの間で、定員は20名程度となっております。

なお、年間受講料として6,000円が必要です。

《お問合せ先》

愛媛大学社会連携推進機構
水産イノベーションスキル修得講座係
☎ 089-927-8827 担当：原田
FAX 089-927-8820